








# 支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	


起 票 日	令和 8 年 5 月 1 8 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 8 年度	会 計	01 一般会計
科 目	01 議会費	予 算 区 分	0 現年度
目 録	01 議会費		
事 業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細 節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金 額	129,690 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	1 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支 出 命 令 済 額	129,690 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負 担 行 為 残 額	470,310 円	請 求 書 番 号		
源 泉 支 払 内 容	*****			

件 名	広報広聴費 日本共産党市会議員団ニュースNo.120 (30,000枚) 印刷代
-----	--

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和8年 5月28日
	住 所			
	名 称	日本共産党代表者 森下 巖		
	役職等/ 氏名			
	銀 行 / 口 座			
	口 座 名 義 人	債 権 者 番 号		

領 収 氏 名	住 所	領 収 印	
日本共産党代表者 森下 巖			

上記の金額を領収しました。

令和8年 5月28日

令和

泉大津市 会計管理者 あて

支 払 済
-------

支出負担行為 確 認


1



伝票番号

08-001966

整理番号

08-000003-01

負担行為番号

08-000392/




呼出番号



00758780

08 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

8.5.18

供	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	庶務係長	総括主査	係員
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和 8年 5月 15日

泉大津市長  
南 出 賢 一 様  
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 日本共産党  
代表者名 森下 巖



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	¥ 129,690 -		
内 訳	この日は日本共産党市会議員団体の No. 120 印刷代と2		
支 払 先	この日は印刷		
予 算 科 目	広報広聴費	交付残額	470,310円
使用 者 名	森下 - 松本		



日本共産党泉大津市会議員団

御中

領 収 書

¥ 129,690.-

但シ

上記金額確に領収致しました

R8年 5月 12日



企画から……印刷まで

泉大津市印刷  
〒0725-33 6-5 5 4  
FAX (0725)33-7268



# こんにちはは日本共産党市会議員団です



市会議員 森下 いわお

板原町3-3-43 TEL:090(3051)9790  
i.morishita512@gmail.com



森下一般質問

No.120 2026年5月

発行：日本共産党泉大津市会議員団



市会議員 松本 まり

条南町4-1-301 TEL:070(6926)6773  
jcp1990matsumotomari@gmail.com

松本一般質問

泉大津市議会第1回定例会のご報告です。森下いわおは「子どもの権利を尊重し、子どもも親も安心できる不登校対策と支援」について、松本まりは「市民とともに進める公共施設の計画づくり」について一般質問しました。2026年度の予算審査特別委員会が開かれて、森下いわおが委員として出席しました。

## 給食無償化(小学校)実現 (森下いわお 一般質問)

答弁：長期欠席時の給食費相当額の支給は検討しない！

長年要望をしていた給食費の無償化が、この4月から小学校では実現しました。

日本共産党は75年前の参議院ではじめて無償化を求めて以降、全国の自治体で取り上げてきました。私も議員となってますが中学校給食の実施、中学校の自校調理方式への転換、そして給食無償化をくり返し求めてようやく実現しました。

また、不登校や病気などで長期欠席時には、給食費相当額を給付する自治体もあることから実施を求めました。しかし、「検討しない」という非常に冷たい答弁でした。

国はフリースクールへ通う場合も対象に出来るとしており、国の制度として実現したことから、義務教育課程における全ての児童に対して取り組むべきです。

早急に長期欠席者への給付の実施、そして中学校においても給食費の無償化を実施するよう市としても積極的に取り組むべきと求めました。

## 全校の校内支援ルーム：複数配置になるよう要望

学校や教室に行きづらい子どもの居場所となるのが校内支援ルームです。条東小学校にはじめて設置された時に視察をし、全校への配置を求め、昨年4月から全校に設置されました。前年に1日も登校出来なかった子が登校できるなど大切な場になっています。さらにどの時間帯でも受け入れが出来るよう教員の複数配置が必要です。市は2校から4校にするとしましたが、どの学校にも必要だと要望しました。

## 市民の声を聴いて！ (松本まり 一般質問)

### みんなで使える公共施設へ！！

市民から「何が(何で)あそこに出来たの？」と聞かれます。市が計画した公共施設適正配置計画にも無いのに、突然姿を変えたり新たに出来る事が続いています。

今後の計画では、歩いて行ける範囲に市民が気軽に集えるコミュニティの場が必要とするにも関わらず、南北公民館などを統廃合して生涯学習センターの一カ所にする事や、長寿園の集約化などが計画されていますが、市民への説明は充分ではありません。市民の為に必要というなら、もっと事前に市民の声を聞いて、その声を活かして、みんながもっと使える施設にしてほしいと要望しました。

## 学校の地域交流ゾーンは 公民館の代替えにはなりません！



その一方で、地域の小中学校で進めている地域交流ゾーンを利用するモデル事業が始まっています。利用時には鍵の開け閉めなどが必要で、平日の日中は授業があるために使えません。利用者からは希望した日時で使えないことなど非常に使いにくいと聞きます。地域交流ゾーンが公民館や長寿園の代わりにはならないことを訴えて、考え直すように求めました。

## 生活法律相談会

どなたでもお気軽におこしください。  
ご相談には弁護士と市会議員があたります。

受付は午後8時まで

6月5日(金) 午後6時～ 勤労青少年ホーム2階(誠風中向かい)



**2026年度予算審査委員会** 森下いわお議員が出席**一般会計と国保/介護/後期高齢会計に反対****4年連続の大型予算…約394億円!**

主な要因は物価高騰による人件費などや各種事業の予算がふくらんだため、国からの交付税などが大きく増加しているからです。

**市長推進の事業には多額の予算計上!**

そうした中でも市長が熱心に取り組んできたシーパスパーク(新公園)の管理運営委託費がきっちり390万円増の8,690万円となり、他のすべての公園の維持管理と比較するとあまりに格差があります。駅前ビルの図書館の家賃も4,645万円と高額で、その他にも様々な官民連携事業があります。

**市の貯金(財政調整基金)約10億円も減少し31億円!****市の借金(全会計合計)約652億円と財政危機寸前!**

昨年の決算委員会でも問題を指摘しましたが、1を超えると余裕があるとされる財政力指数が5年連続低下で0.687。将来負担比率が9.5%から大幅増加の44.6%。市は予算説明書で急性期メディカルセンターの建設と周産期小児医療センター改修の影響と認めています。私たち議員団は一貫して警鐘を鳴らしてきましたが、財政規律を無視して強行した市の責任は重大です。

**水道事業・下水道事業には賛成****安心安全な安定給水と災害時の対応強化を要望****周産期小児医療センターの経営形態見直しを明言****市立病院事業会計に反対** 

泉大津メディカルセンターと周産期小児医療センターの2病院に関わる事業会計となり、非常に分かりにくい会計になっています。メディカルセンターは公的医療機関としての国の繰り入れ金や市から多額の指定管理料が委託先の生長会にあり、資金不足が生じない収支構造となっています。その一方で周産期小児医療センターは、総合病院と切り離されて財政的にも厳しい状況に追い込まれ、突然経営形態の見直しを言い出しました。子どもの命と健康に責任を持つとしていたのに、市民との約束違反ではないでしょうか。

**全国一高い保険料(国保)は大幅に引き下げよ!**

国民健康保険(国保)は大阪府の統一保険料となり、全国一高い保険料です。子ども子育て支援金制度による新たな負担や診療報酬の改定によりさらに引き上げになりました。しかし、大阪府が274億円もの剰余金、177億円の基金、各市町村の基金の活用を進めれば引き下げられることを明らかにして対応を求めました。

**介護保険は次期計画で保険料引き下げを!**

介護保険事業は9期計画の最終年となり、この1年は次期10期計画策定の年になります。利用者アンケートや事業者の調査にも取り組むとしています。なぜこれ程の保険料の引き上げになっているのかや、訪問介護において必要な支援が適切に行なわれているのかなど実態の把握を求めました。保険料がさらに上がっていないよう問題の指摘をして、適切な支援と保険料になるよう求めました。

**市民の声を届ける…予算委員会の発言数/発言時間・N01**

- ☆保育の待機児童の解消・保育士確保と待遇改善を要望
- ☆病児保育の実施
- ☆シーパスパークのように身近な公園の維持管理を進めること
- ☆防犯灯の設置や維持管理費は、堺市のように100%市が負担すること
- ☆機能していない空き家バンクの有効活用
- ☆身近な公共スペースの確保
- ☆留守家庭児童会(学童保育・なかよし学級)の民間委託の問題

**物価高騰対策として「くらし応援クーポン券」****何度も要望し実現…市民1人7,000円配布**

国の物価高騰対策として、これまで何度か実施されてきた給付金を、この間泉大津市はスマホ決済などデジタルでの対応を繰り返していました。

私たち議員団は活用出来る人や事業者が限定され公平性に欠け問題があると指摘をして、商品券など全市民対象の対策をくり返し求めてきました。

この議会の補正予算で、全市民対象の「くらし応援クーポン事業」として、市民1人当たり7,000円分のクーポン券の配布をすると提案があり、全会一致で可決されました。



市議会是一般質問や委員会の質疑をネット中継や録画で見ることが出来ます。泉大津市議会ホームページから、ネット中継/録画へ進んでください。